

原子力広報 松江市

発行日：令和6年4月1日

原子力防災などについての出前講座、原子力関連施設見学会、避難先自治体視察研修会などを行っています。

原子力をテーマにした講座などの概要

松江市では、原子力発電所立地自治体として、市民の皆さまに原子力発電や原子力安全対策・原子力防災対策などへの理解を深めていただくため、出前講座、原子力関連施設見学会、避難先自治体視察研修会などを行っています。関心がある人、基本的な対策を知りたい人など、ぜひお申し込みください。

事業	対象	内容	実施時期・申込方法
出前講座	市内在住・在勤・在学の人で、おおむね10人以上のグループ・団体	放射線に関する基礎知識や原子力防災対策など、ご要望内容・時間に応じて説明します。	【時期】 通年 ①電話などで内容・開催日時を相談（電話番号は裏面参照） ②申込書を提出 （HP 松江市 出前講座 で検索）
原子力関連施設見学会	市内公民館・自治会単位の団体 （1回あたり10～40人）	島根県原子力防災センター（オフサイトセンター）、島根県原子力環境センター、中国電力(株)島根原子力発電所（島根原子力館などの関連施設を含む）を見学し、原子力発電および原子力防災対策について説明を聞きます。	【時期】 6月～3月 開催希望日の1カ月前までに電話などで日程を相談 ※貸切バス代などは市が負担
避難先自治体視察研修会	市内公民館・自治会単位の団体 （1回あたり10～40人）	松江市原子力災害広域避難計画などに基づき、地区ごとに定められた避難ルートおよび避難経路所の確認・視察を行い、避難先自治体から防災対策などの説明を聞きます。	【時期】 7月～3月 開催希望日の2カ月前までに電話などで日程を相談 ※貸切バス代などは島根県が負担
出前授業	小学5年生～中学3年生、義務教育学校5～9年生（学校からの申し込みによる）	放射線に関する基礎知識、原子力防災の説明や放射線測定器を使って身の回りにある放射線を確認する実習などを行います。	【時期】 通年 ①電話などで内容・開催日時を相談（電話番号は裏面参照） ②実施希望日の1カ月前までに申込書を提出



松江市原子力安全対策課
イメージキャラクター
げんたくん

昨年度は、出前講座6団体、原子力関連施設見学会2団体、避難先自治体視察研修会2団体、3校の小・中学校で出前授業を行いました（2月末時点）。その様子を紹介しますよ。

出前講座



【古江地区での出前講座の様子】

避難先自治体視察研修会



【福山市の災害備蓄物資について説明を受ける宍道地区の皆さん】

宍道地区の参加者22人が、避難ルートを通して避難先自治体（広島県福山市）へ行きました。

避難経由所（ここで避難先自治体の職員が開設した避難所へ順次誘導を行う）や周辺の環境を確認したほか、災害備蓄物資の保管場所を見学し、福山市担当者より説明を受けました。

【参加者の感想】実際の避難経路を通ることで、災害時の対応をイメージすることができてよかったです。

原子力関連施設見学会



【島根県原子力防災センターで説明を受ける八束地区の皆さん】

八束地区の参加者18人が、島根原子力発電所など原子力関連施設を見学し、それぞれの施設で担当者から説明を受けました。

移動中のバス車内では、松江市の原子力防災について、地区の避難計画パンフレットや資料を基に説明しました。

【参加者の感想】安全・安心のためのさまざまな対応・対策がされていることが分かりました。

出前授業「放射線と原子力防災」

わたしたちが日々生活する地球上には自然の中に放射線があること、放射線とはどういうもので、放射線が増えてしまったらどのような影響があるのか、原子力発電所で事故が起こったらどうしたらいいのかなどを学んだよ。

また、放射線は五感で感じる事ができないので、専用の測定器を使って身の回りにある放射線を測ったり、霧箱を使って放射線の飛跡を観察する実験をしたよ！



松江市原子力安全対策課
イメージキャラクター
つくねちゃん



【放射線について説明を聞く忌部小学校の皆さん】



【霧箱を使って放射線の飛跡を観察しました】

市の原子力に関する取り組み、広域避難計画、地区ごとの避難計画パンフレットなどは、市のホームページに掲載しています。

出前講座などの申し込みは、松江市原子力安全対策課 ☎55-5616



<市ホームページ>